



教育目標 「学びあい ひびきあい かがやく 黒川の子」

令和5年度 黒川小 学校評価だより

目指す子ども像 「黒川を愛し、思いやりの気持ちを持ち、自分の未来を切り拓く子」

【学校評価の取組について】

学校の教育目標、「コミュニティ・スクール」(CS)としての「目指す子ども像」の実現に向けて、学校では教育活動における学校評価の取組を進めています。

具体的には、児童・保護者・教職員のアンケートを基にした分析を行い、自己評価をいたします。さらに、CS制度に伴って開かれる学校運営協議会の中で、年間2回の学校評価全体会を行い、委員の皆様からも評価をいただき、より客観性のある学校評価を目指します。

学校評価の仕組み



学力向上推進部

豊かな心推進部

体力健康推進部

教職員が左の3つの推進部に分かれ、それぞれの分野での重点目標を設定します。また、その目標に向けた教育活動や運営活動をどのように遂行していくのか、計画を立てます。【PLAN】



立てた計画通りに実践します。【DO】



CHECK!



1学期末、2学期末に、「児童・保護者・職員アンケート」を実施します。アンケートの集計結果をもとに分析をします。【CHECK】



成果と改善すべき点について自ら評価します。自己評価の結果について、学校運営協議会では、「目指す子ども像」に関する部分を説明し、学校の取組について評価していただき、さらなる改善策を検討します。【ACT】



【PLAN】→【DO】→【CHECK】→【ACT】→【(次年度への)PLAN】のサイクルで学校評価を行うことにより、より質の高い教育活動を行えるよう努めます。

令和5年度 黒川小学校 知・徳・体の目標

★令和5年度「知育・徳育・体育」それぞれの【重点目標】と【成果目標】を下記のように設定しました。

※ゴシック体の箇所は今年度変更した点です。

	学力向上（知）	豊かな心の育成（徳）	体力健康推進（体）
重点目標	伝え合いを通して 理解を深める	思いやりの気持ちを持ち、協力して活動する	めあてをもち進んでチャレンジする
成果目標	①「授業中に 解決したい課題を見つけ 、自分の考えを進んで話したり、友達の考えを聞いたりして 学習内容を理解している児童 」を児童アンケートで90%以上、 教師アンケートA評価 80%以上にする。	① 気持ちのよいあいさつ（相手を見て、 明るい声で ）をする児童の割合を、児童アンケートで90%以上、教師評価（教師の見取りによる児童数）で70%以上にする。	① 体を動かす遊びや運動を楽しんでいる児童の割合を児童アンケートで75%以上にする。
	② 学年の発達段階に応じた内容で 自分の立てた計画に沿って自主学習に取り組みながら 「学年×10分×6日」以上家庭学習できる児童の割合を 85%以上にする。	② 縦割り班活動の重点活動の振り返りで自他のよさを見付けられた児童を 90%以上にする。	② 自分の目標を立ててメディアに接する時間を1時間以下にできた児童を 85%以上にする。

令和5年度の取組

<学力向上について>

- 胎内市教育委員会による「胎内市授業スタンダード」を自校化した「黒川小授業スタイル」を意識した授業づくりに全校体制で取り組みます。

「とらえる」「考える」「伝え合う」「まとめる」の4つの学習過程をつないでいくことを大切に、**今年度はその中でも、子どもの問いから課題を設定したり、子どもの願いからめあてをつくったりする「とらえる」活動に重点を置いて指導していきます。**



- 望ましい学習規律の定着を目指し、学期はじめに「**学習スキル強調週間**」を設定しています。下の「**黒川小学校 授業の約束（5つ）**」を全校で守れるように働きかけ、学校全体で落ち着いた学習環境づくりに努めます。

- 1 時間になる前に席に着き、学習を始められるようにします。
- 2 話を聞くときは、最後まで静かに聞きます。
- 3 指名されたら返事をして、立って話します。
- 4 文字はていねいに書きます。
- 5 授業が終わったら、次の時間の準備をして椅子を入れてから席を離れます。



- 基礎基本の定着に向けて、朝学習や朝のチャレンジタイム（年間 48 回）における**スキル学習**，学期に**2回の全校テストの実施（全学年）**を計画しています。全校テストでは、結果に応じて、個別指導や再テストを行っていきます。
- **児童自ら家庭学習の計画立てができるように、毎週金曜日にプランニングタイムを設けています。**家庭学習カードと週予定を用いながら、次の週の自主学習プランを立てさせ、見通しをもって計画的に学習を進めていく働きかけを行っていきます。

<豊かな心の育成について>

- よりよい人間関係を築くための方策を習得させるため、**全校ソーシャルスキルトレーニングを重点月(4・5・6・10・11 月)に全校体制で行っていきます。**
毎回教師によるモデリングの動画を各教室で視聴した後で好ましいスキルを一人一人が体験する場を設定しています。学んだスキルが日常生活の中でも生かされていくように全職員で声をかけていきます。
- 毎月の胎内市あいさつの日に合わせて、**児童玄関前に「あいさつロード」**を設けています。あいさつロードでは、各学年や縦割り班の児童が月ごとに輪番で立ち、登校してきた人たちとあいさつを交わします。どの児童も「**あいさつされる側**」と「**あいさつする側**」の両方を経験することで、気持ちのよいあいさつの大切さを実感できるようにしていきます。



- お互いに認め合い、自己肯定感や自己有用感を育む場として、**縦割り班活動を意図的に設定**しています。
学年の発達段階に応じた事前指導や自他の良さに気付いたり感謝の気持ちを醸成したりする振り返り活動を充実させます。

- **学期に1回、生活アンケート調査**、年間2回、**Q-U（学級満足度調査）**を行い、結果をもとに児童の悩みや心配ごとに対し、きめ細かい対応をしています。また、問題があった場合には、担任だけでなく、生活指導主任や校長や教頭、その他関係職員も情報を共有し、**組織で対応**しています。
- 6月と11月に児童会主催で「**みんなで広げよう黒小の輪**」集会を、10月には、**小中合同で「いじめ見逃しゼロスクール集会」**を開きます。一人一人が大切な存在であることや、いじめが起きないためにみんなで心掛けていくことについて、考えを深めていく場としていきます。

<体力向上について>

- 日々の体育授業の質を高め、児童に運動の楽しさを伝えるとともに、技能のスキルアップも目指します。

- 毎月の胎内市あいさつの日に合わせて、**ローメディアデー**を設定します。個々にチャレンジレベルを設定し、挑戦します。ローメディアデーでは、メディアに触れない時間に読書や外遊び、家の手伝いなど、工夫して過ごす児童が増えてきています。



- 自らの生活習慣を見直す機会として、黒川中学校区では「**黒川っ子パワーアップ週間**」を設けています。自分の生活に関する目標設定力、実行力、改善力といった3つの力を義務教育の9年間で育んでいく取組です。保護者の方にも協力していただきながら、めあてを決めたり日々の評価をカードに記入したりします。
- 「睡眠の大切さに」について、7月12日（水）の学習参観日に、5・6年生対象の講演会を計画しています。睡眠健康指導士の資格を有した講師をお招きします。

